

**Trophy 3DI**

## **ユーザーおよびインストール ガイド**

# 注意

本発行物のいかなる部分も、事前の書面による許諾を得ずして、電子的、機械的、コピー、記録など、いかなる形式または手段でも複製、検索システムに保存、他言語への翻訳、あるいは伝送することはできません。

この文書の情報は変更されることがあります。ケアストリームヘルス社またはその子会社は本文書中の誤りあるいはこの資料の提供、実行、または使用に関連する偶発的損害に対して責任を負いません。

このガイドを充分に理解され、システムを最も効果的な方法でお使いになることをお勧めします。



警告 : Trophy 3DI をお使いになる前に「安全、規制および技術仕様ユーザーガイド」を参照することをお勧めします。

ケアストリームヘルスは ケアストリームヘルス社の商標です。

その他の商標および登録商標はすべてそれぞれの商標権の所有者の財産です。

合衆国連邦法では、この装置の販売は歯科医師本人または、歯科医師の指示による場合に制限されています。

マニュアル名 : Trophy 3DI ユーザーおよびインストール ガイド

パート番号 : 7K1335\_ja

改訂番号 : 01

印刷日 : 2013 - 08



# 目次

<b>第 1 章</b>	このガイドで使用されている表記規則 . . . . .	1
<b>このガイドで使用されている表記規則</b>		
<b>第 2 章</b>	Trophy 3DI の概要 . . . . .	3
<b>Trophy 3DI の概要</b>		
<b>第 3 章</b>	コンピュータシステムの最少要件 . . . . .	7
<b>Trophy 3DI ソフトウェアの概要</b>	一般ソフトウェアの概要 . . . . .	7
	イメージングソフトウェア . . . . .	7
	Trophy 3DI 画像取得インターフェースの概要 . . . . .	8
	ツールバーの概要 . . . . .	9
	歯列弓透明度 . . . . .	12
	プレパレーションチェック . . . . .	12
	基本設定ダイアログボックスの概要 . . . . .	13
	全般の基本設定 . . . . .	13
	スキヤナ設定 . . . . .	14
	ツール設定 . . . . .	15
<b>第 4 章</b>	Trophy 3DI をセットアップする . . . . .	17
<b>Trophy 3DI をセットアップする</b>	Trophy 3DI デスクトップホルダの取り付け . . . . .	22
	Trophy 3DI 壁取り付けホルダの取り付け . . . . .	23
<b>第 5 章</b>	イメージングソフトウェアの使用 . . . . .	25
<b>はじめに</b>	画像取得インターフェースにアクセスする . . . . .	25
	イメージングソフトウェアを使用して	
	画像取得インターフェースにアクセスする . . . . .	25
	基本設定を行う . . . . .	26
<b>第 6 章</b>	Trophy 3DI を準備する . . . . .	28
<b>3D 画像のスキャンと取得</b>	歯のスキャンと 3D モデルの画像取得 . . . . .	29
<b>第 7 章</b>	洗浄と殺菌 . . . . .	37
<b>メンテナンス</b>		
<b>第 8 章</b>	製造元の住所 . . . . .	39
<b>お問い合わせ情報</b>	認定代理店 . . . . .	39



# 1

## このガイドで使用されている表記規則

### このガイドで使用されている表記規則

次のメッセージは、人または装置への潜在的なリスクを示します：



**警告**：安全に関する指示に従うことにより、ご自身や他の方が怪我をしないよう警告します。



**注意**：重大な損傷を引き起こす可能性のある状態に対し注意を喚起します。



**重要**：問題を引き起こす可能性のある状態に対し注意を喚起します。



**注記**：重大な情報を強調します。



**ヒント**：その他の情報およびヒントを提供します。



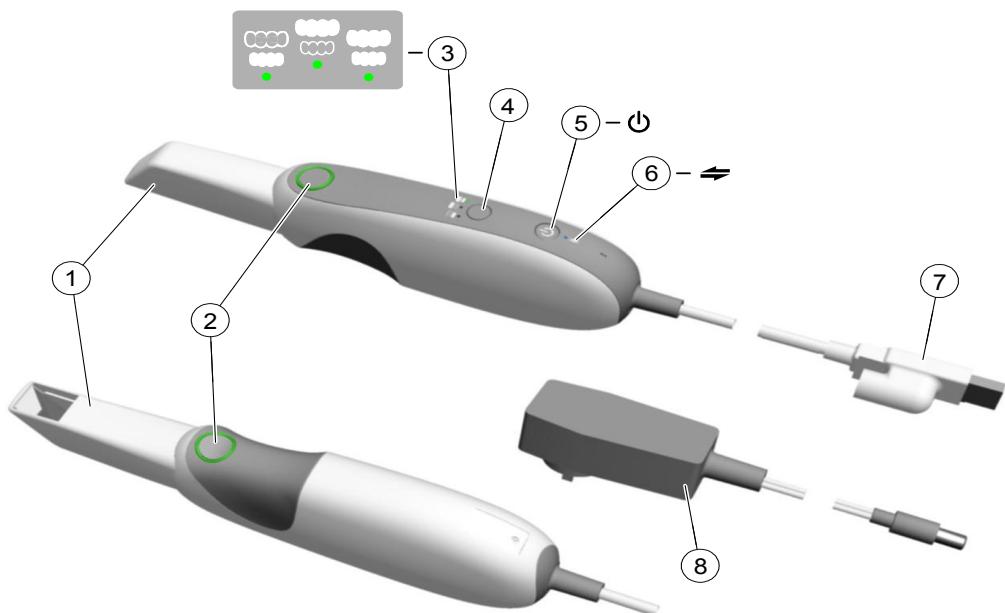
# 2 Trophy 3DI の概要

Trophy 3DI は以下のモードで 3D 静止画像を取得するよう設計されています：

- 下顎
- 上顎
- 頬側咬合

## Trophy 3DI の概要

図 1 Trophy 3DI コンポーネントの概要



### 1 使い捨てチップ

上向きまたは下向きにしてチップを取り付けることができます。チップには 2 つのサイズがあります。子供や小柄な患者には小型のチップを使用します。チップ内には、1 つのミラーがあります。照明用 LED は Trophy 3DI のボディ内にあります。

## 2 画像取得ボタン

ボタンを押すとスキャンが始まり、3D 画像を取得します。

- Trophy 3DI はデフォルトでは自動画像取得モードになっています。Trophy 3DI が安定で、画像がクリアであれば、画像取得が開始されます。
- 手動で画像取得をするには、画像取得ボタンを 1 度押して 1 つのビューを取得します。Trophy 3DI をマニュアル画像取得モードのままにするには、基本設定ウィンドウで自動キャプチャを非選択にします。
- ガイドシステムが有効になると、画像取得ボタンの周囲の LED リングの色が変わります。



許容できる量のオーバラップおよびアンギュレーションを示します。



許容できない量のオーバラップとアンギュレーションを示します。

ガイドシステムを使用しない場合、LED リングは常に緑色で表示されます。

## 3 モードインジケータ

-  下顎スキャンモード
-  上顎スキャンモード
-  頰側咬合モード

## 4 モードボタン

ボタンを押して、異なるモード間を切り替えます。

## 5 電源ボタン

- 1 秒間押すと、電源がオンになります。
- 3 秒押して、電源をオフにします。

電源インジケータ LED :

-  Trophy 3DI がアクティブであることを示します。
-  Trophy 3DI がスリープモード、ホールダーモード、スタンバイモード、または他の非アクティブモードであることを示します。
-  電源がオフであることを示します。

## 6 USB 接続インジケータ

-  接続が確立されたことを示します。
-  接続が切断されていることを示します。

## 7 USB ケーブル

このケーブルの一端を Trophy 3DI の底部にしっかりと配線し、他端をコンピュータの USB ポートに挿入します。

## 8 電源アダプタ

このアダプタの一端を USB プラグのジャックに挿入し、他端を電源コンセントに挿入します。

## Trophy 3DI ホルダの概要

Trophy 3DI にはデスクトップと壁取り付けホルダの両方があります。Trophy 3DI を使用していないときは、ホルダに入れてください。

図 2 Trophy 3DI とデスクトップホルダ



図 3 Trophy 3DI と壁取り付けホルダ





**注記** : Trophy 3DI をホルダに挿入すると、ホルダモードになります。  
Trophy 3DI を再び使用するには、ホルダから取り出してください。



**注記** : Trophy 3DI は 1 分間アイドル状態にする（例えば、デスク上に設定した場合）とスリープモードになります。再び使用するには、持ち上げるか電源ボタンを押します。



**注記** : Trophy 3DI はチップを外すとスタンバイモードになります。  
Trophy 3DI を再び使用するには、チップを取り付けます。



**注記** : Trophy 3DI が 1 時間以上アイドル状態の場合、電源がオフになります。

# 3 Trophy 3DI ソフトウェアの概要

## コンピュータシステムの最少要件

コンピュータシステムの最少要件に関する情報は **Trophy 3DI の安全、規制、および技術仕様ユーザガイド** を参照してください。



**重要:** コンピュータのシステム構成が Trophy 3DI ソフトウェアのコンピュータシステム要件に対応しているか必ずチェックしてください。

## 一般ソフトウェアの概要

Trophy 3DI は以下のソフトウェアで動作します：

- イメージングソフトウェア
- **Trophy 3DI 画像取得インターフェース**
- **Trophy Restore** ソフトウェア
- **Trophy Connect** ソフトウェア

## イメージングソフトウェア

ケアストリームのイメージングソフトウェアはユーザーフレンドリーのインターフェースで、歯科用デジタルシステムすべてに対応した、共通イメージングプラットフォームとして設計、開発されました。

詳細については、次をご覧ください：

- **デンタルイメージングソフトウェアオンラインヘルプ** および **デンタルイメージングソフトウェアクイックユーザーガイド**

または

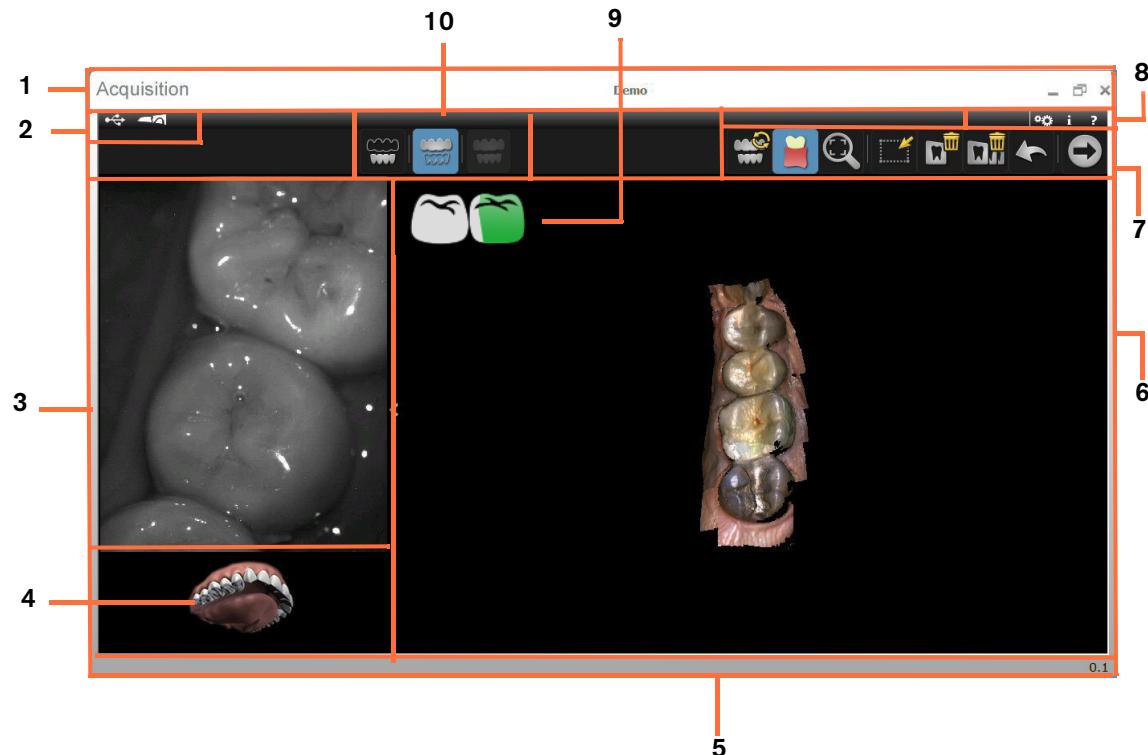
- **Trophy Imaging** ソフトウェアオンラインヘルプ および **Trophy Imaging クイックユーザーガイド**

## Trophy 3DI 画像取得インターフェースの概要

Trophy 3DI 画像取得インターフェースによって次の 2 つの方法で画像の取得ができます：

- ・ 全歯列弓スキャン：上顎、下顎、および頬側咬合。
- ・ 部分歯列弓スキャン：上顎または下顎、または数本の歯のみ。

図 4 Trophy 3DI 画像取得インターフェースの概要



### 1 タイトルバー：表示内容：

- ・ 患者の名前
- ・ 画像取得インターフェースを最小にします。
- ・ 画像取得インターフェースを最大にするか、または元のサイズに戻します。
- ・ 画像取得インターフェースを閉じます。

### 2 Trophy 3DI のステータスバー : Trophy 3DI の現在のステータスを示します。

- 3 ビデオプレビュー画面 : 有効にすると、整列ガイドと共に、患者の歯のスキャンに関するライブビデオを表示します。
- 4 チュートリアルアニメーション : 画像取得中にガイド用の視覚的な指示が表示されます。

- 5 **進行状況バー**: 画像取得プロセスのステータスを示します。
- 6 **3D モデル表示画面**: スキャンにより作成される 3D モデルを表示します。
- 7 **画像ツールバー**: 3D モデルの操作ができます。
- 8 **設定ツールバー**: ファイルをインポートおよびエクスポートし、基本設定を行い、システム情報およびオンラインヘルプにアクセスできます。
- 9 **画像取得フィードバックインジケータ**: 画像取得の成功または失敗の理由を示します。
- 10 **画像取得モードツールバー**: 画像取得モードの選択ができます。

## ツールバーの概要

### 画像取得モードツールバー

画像取得モードツールバーによって画像取得モードの選択ができます。



**下顎ボタン**: 下顎の 3D スキャン画像を取得します。



**上顎ボタン**: 上顎の 3D スキャン画像を取得します。



**頬側咬合ボタン**: 咬合の 3D スキャン画像を取得します。

### 画像ツールバー

画像ツールバーで画像の選択と管理を行うことができます。



**切り替えボタン**: 間違った顎の歯のスキャンを行った場合、画像取得モードの上顎を下顎にまたはその逆に切り替えます。



**マージンライン描画ボタン**: メッシュのスナップショットでマージンラインを引くことができます。



**マージンラインビューアボタン**: マージンライン画像を表示して削除することができます。



**トゥルーカラーボタン**: 患者の硬組織および軟組織の実際の色で 3D モデルを表示します。



**フラットボタン**: 3D モデルの表面を滑らかにします。それによりメッシュが視覚的にシャープになりマージンラインが明瞭になります。



**ズームフィットボタン**: 3D モデルを表示領域に適する最適なサイズにします。



**ウィンドウで選択ボタン**: マウスをドラッグして選択ボックスを描画し、ビューまたは複数ビューを選択できます。



**カットボタン**: 画像の過剰軟組織を選択して削除します。



**削除ボタン** : 選択したビュー / 複数ビューを削除します。



**すべてを削除ボタン** : 現在のモードのすべてのビューを削除します。



**復元ボタン** : 削除した最後のビューを復元します。



**リセットボタン** : すべての削除を逆転再生して、初期画像取得に戻ります。



**次へボタン** : 画像取得ワークフローの次のステップに移動します。



**前へボタン** : 画像取得ワークフローの前のステップに移動します。



**完了ボタン** : 完了した画像をデンタルイメージングソフトウェアまたは Trophy Imaging へ送信します。

## 設定ツールバー

設定ツールバーで、ファイルをインポートおよびエクスポートし、基本設定を行い、システム情報およびオンラインヘルプにアクセスできます。



**エクスポート** : ドキュメントライブラリにアクセスして、画像ファイルをエクスポートしたいフォルダを選択できます。画像取得中に中断され後の使用のために取得した画像を保存したい場合、エクスポート機能を使用します。



**インポートボタン** : ドキュメントライブラリにアクセスして、画像ファイルをインポートしたいフォルダを選択できます。インポート機能を使用して、保存した部分画像取得にアクセスします。



**基本設定ボタン** : 基本設定ダイアログボックスにアクセスします。



**情報ボタン** : ファームウェアおよびソフトウェアバージョンなどの、システム情報、およびハードウェアのシリアル番号にアクセスします。



**オンラインヘルプボタン** : オンラインヘルプにアクセスします。

### Trophy 3DI のステータスアイコン

Trophy 3DI のステータスアイコンは Trophy 3DI に関する情報を表示します。



**USB 接続アイコン** : Trophy 3DI の USB 接続状態を表示します。白いアイコンは標準接続を示し、赤色のアイコンは Trophy 3DI が切断されていることを示します。



**スキヤナアイコン** : スキヤナアイコンをクリックして、スキヤナを再接続します。



**ホルダに挿入中アイコン** : Trophy 3DI がホルダに入っていることを示します。



**スリープモードアイコン** : Trophy 3DI がスリープモードであることを示します。



**標準チップアイコン** : Trophy 3DI に標準チップが取り付けられていることを示します。



**小型チップアイコン** : Trophy 3DI に小型チップが取り付けられていることを示します。



**チップなしアイコン** : Trophy 3DI にはチップがないことを示します。



**スタンバイアイコン** : Trophy 3DI がスタンバイモードであることを示します。



**過熱アイコン** : Trophy 3DI が過熱していることを示します。

### 画像取得フィードバックステータスバー

画像取得フィードバックステータスバーで画像取得が成功したか確認できます。



**画像取得成功アイコン** : 画像取得に成功したことを示します。



**動きのため画像取得失敗アイコン** : Trophy 3DI が動いたため、画像取得に失敗したことを示します。



**メッッシュのステッチのため、画像取得に失敗または再構成に失敗アイコン** : メッッシュステッチまたは再構成の問題により画像取得が成功しなかったことを示します。

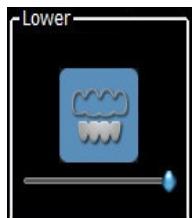
## 歯列弓透明度

歯列弓透明度セクションで上顎および下顎の透明度を調整できます。



上：上顎の透明度を調整できます。

上顎の透明度を調整するには、スライダをクリックしてドラッグします。スライダの上の上顎ボタンをクリックすると、顎のビューが非表示になります。このボタンを再びクリックすると、上顎は表示されます。



下：下顎の透明度を調整できます。

下顎の透明度を調整するには、スライダをクリックしてドラッグします。スライダの上の下顎ボックスをクリックすると、顎のビューが非表示になります。このボタンを再びクリックすると、下顎が表示されます。

## プレパレーションチェック

プレパレーションチェックセクションでプロセスを継続する前に重要な修復データを確認できます。



**プレパレーションチェック**：咬合およびプレパレーション設計を確認するためにチェックする必要がある項目リスト。

次のステップに移行する前に3Dモデルの適切な領域を検査して対応するオプションをリストから選択する必要があります。

以下を確認します：

- 咬合スペース
- アンダーカット
- マージンライン

## 基本設定ダイアログボックスの概要

基本設定ダイアログボックスで、Trophy 3DI 画像取得ソフトウェア設定を選択できます。Trophy 3DI をご使用になる前に、基本設定をセットアップすることを推奨します。

### 全般の基本設定

図 5 全般の基本設定

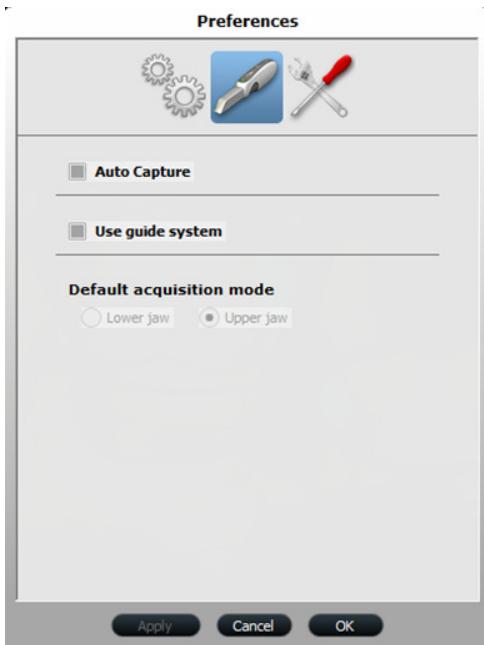


全般の基本設定で以下のオプションを選択できます :

- **Language** ( 言語 ) : メニュー言語を選択します。
- **Help language** ( ヘルプに使用する言語 ) : ヘルプシステムの言語を選択します。
- **Export for** ( エクスポート項目 ) : CAD 形式を選択します。
- **Mesh format** ( メッシュ形式 ) : メッシュ形式を選択します。
- **Export DICOM** ( DICOM のエクスポート ) : DICOM のエクスポートを有効 / 無効にします。

## スキャナ設定

図 6 スキャナ設定



スキャナ設定で以下のオプションを選択できます：

- **Auto Capture** ( 自動キャプチャ ) : 選択すると自動画像取得が有効になります。スライダをクリックして画像取得の感度を調整します。
- **Use guide system** ( ガイドシステムの使用 ) : 選択すると、整列ガイド、保護ライト、および画像取得ボタンの周囲の LED リングが有効になります。
- **Default acquisition mode** ( デフォルト画像取得モード ) : 常に最初にスキャンする顎を選択します。注記：上顎が、変更するまでのデフォルト設定です。

## ツール設定

図 7 ツール設定



ツール設定では、サービス情報のためにログファイルを保存できます。



# 4 Trophy 3DI をセットアップする

## Trophy 3DI をセットアップする

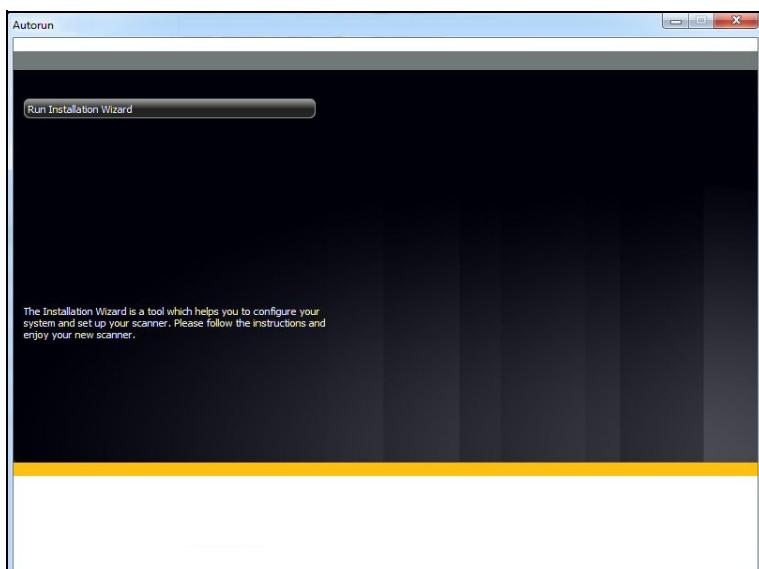
Trophy 3DI をセットアップするには、以下のステップに従います：

- 1 イメージングソフトウェアをコンピュータにインストールします。デジタルイメージングソフトウェアまたは **Trophy Imaging** ソフトウェアをインストールするには、関連するインストールおよびクイックユーザーガイドを参照してください。
- 2 Trophy 3DI インストールウィザードフラッシュドライブを USB ドライブに挿入します。AutoPlay ウィンドウが表示されます。

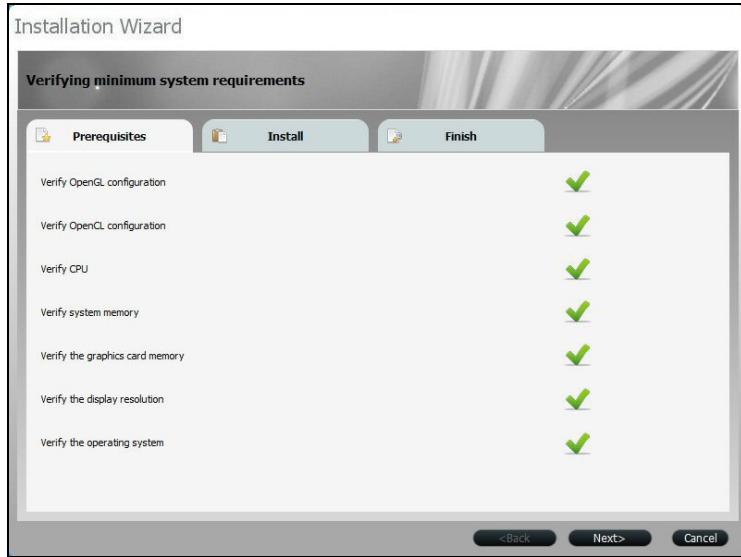


**注記 :** AutoPlay ウィンドウが自動的に表示されなければ、Windows Explorer で Trophy 3DI フラッシュドライブに移動して、Run wizard.exe (wizard.exe を実行) をダブルクリックします。

- 3 Run wizard.exe を選択します。Autorun ( 自動実行 ) ウィンドウが表示されます。



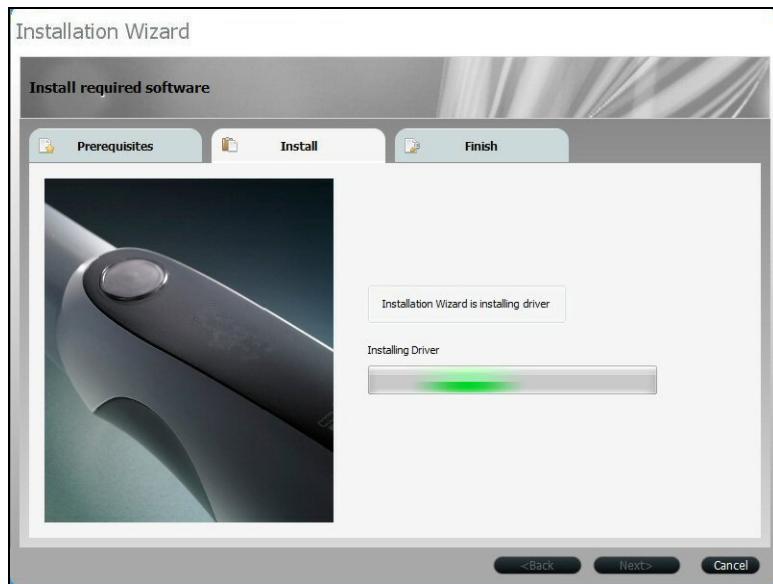
- 4 インストールウィザードの実行をクリックします。インストールウィザード ウィンドウが表示されます。



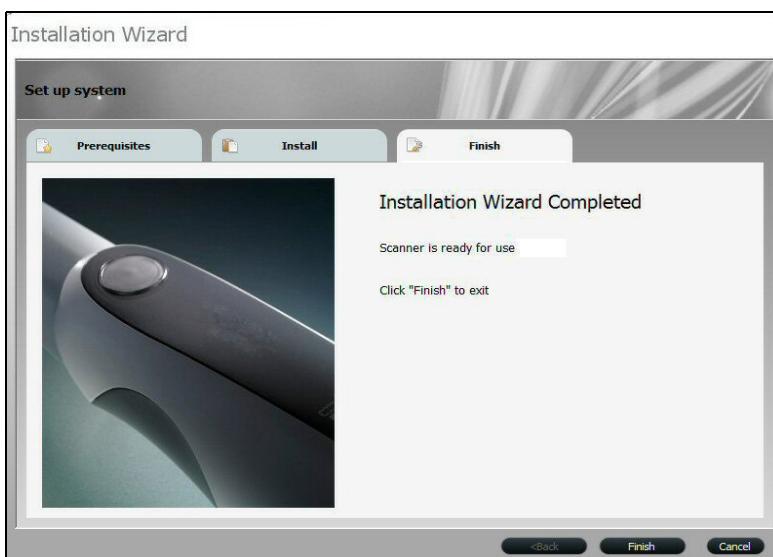
ウィザードによって、ご使用のコンピュータが Trophy 3DI を実行する最少要件を満たすか検証されます。以下の表示に留意します：

- – その領域で推奨要件への適合を示します。
- – 最少要件は満たされるが、推奨要件でないことを示します。インストールを続行できますが、Trophy 3DI は推奨要件が満たされている場合ほどには操作が実行できないことがあります。
- – Trophy 3DI がまったく実行できないかもしれないことを示します。インストールを中止し、コンピュータをアップグレードしてから続行します。不適合要件の情報を見るには ヘルプリンク [Help?](#) をクリックします。

- 5  ではない場合、次へをクリックします。ウィザードによってソフトウェアのインストールが始めります。

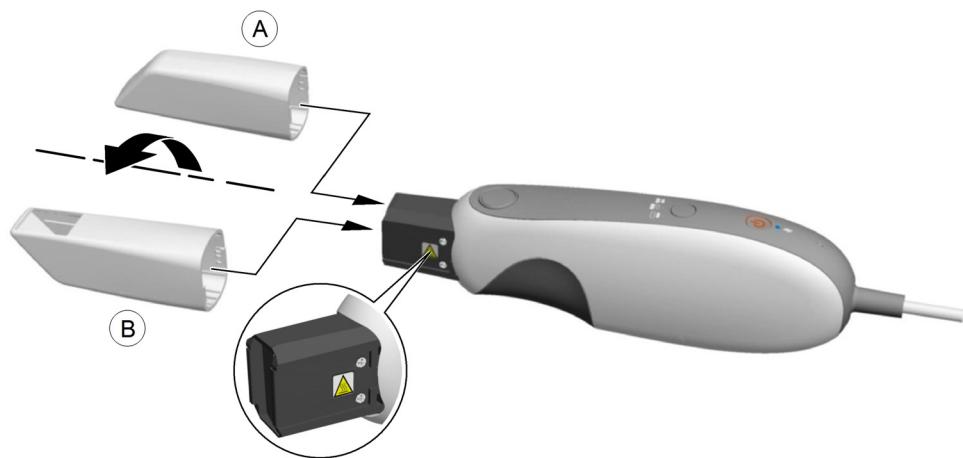


- 6 ソフトウェアがインストールされると、インストールウィザードの完了メッセージが表示されます。

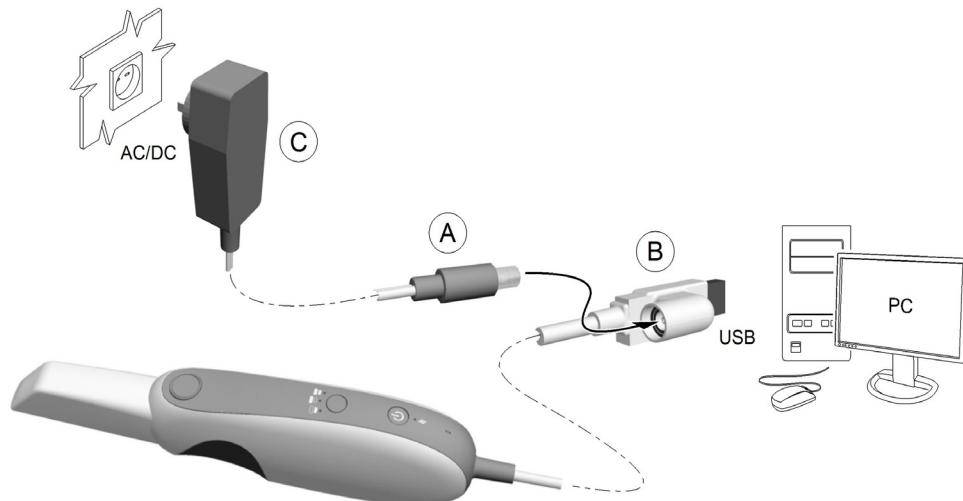


- 7 完了をクリックします。

8 チップを Trophy 3DI の端にしっかりと押し込みます。

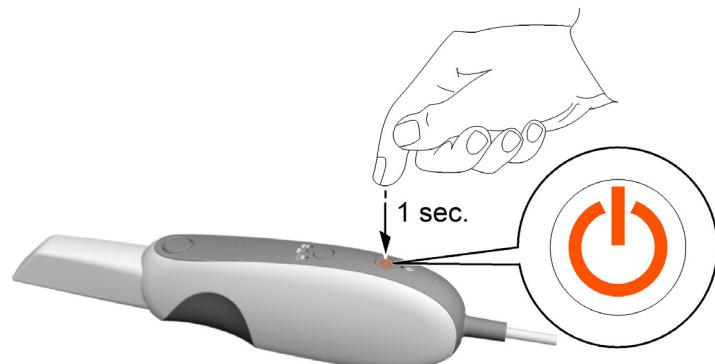


9 DC 電源 (A) を USB プラグ (B) のジャックに挿入し、電源コード (C) をコンセントに挿入します。

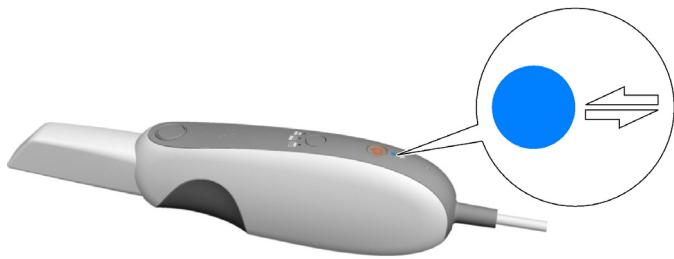


10 Trophy 3DI の USB ケーブルをコンピュータに接続します。

11 電源ボタンを 1 秒間押して Trophy 3DI の電源をオンにします。電源インジケータが橙色に点灯することを確認します。



12 USB 接続インジケータが青色に点灯するまで待機します。

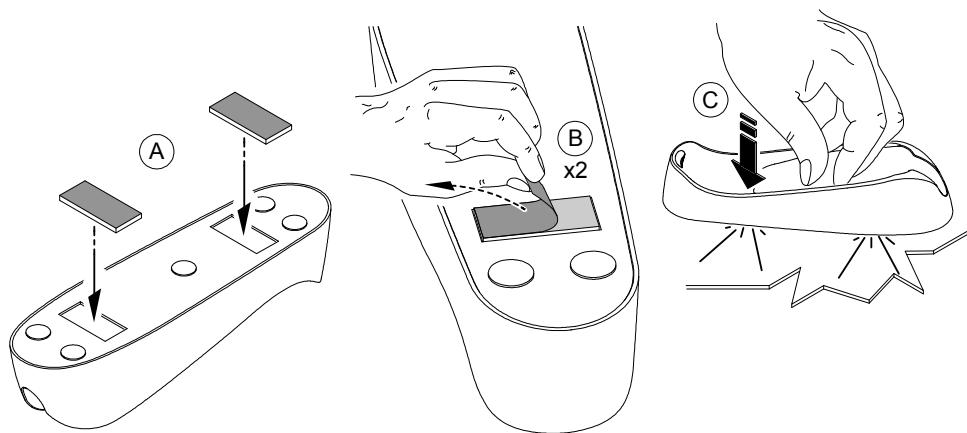


注記：画像取得インターフェースが開き Trophy 3DI の画像取得準備が整うと、電源インジケータが緑色に点灯します。

## Trophy 3DI デスクトップホルダの取り付け

Trophy 3DI デスクトップホルダを取り付けるには、以下のステップに従います：

- 1 アクセスしやすい清潔な場所を選びます。
- 2 Trophy 3DI を取り付ける表面をクリーニングします。
- 3 ホルダーのインデントに接着テープを貼ります (A)。
- 4 接着テープの保護を取り外します (B)。
- 5 Trophy 3DI ホルダのテープされた側を清潔な表面 (C) に置き、数回しっかりと押して正しく接着します。最大接着力を得るには 2 時間かかります。



**重要 : 最初の 2 時間は Trophy 3DI ホルダに圧力をかけないでください。**



**重要 : Trophy 3DI ホルダを固定する接着テープを使用する場合、環境およびその他の要因のため、接着能力が失われることがあります。しっかり接着しているかどうか、定期的にチェックしてください。**

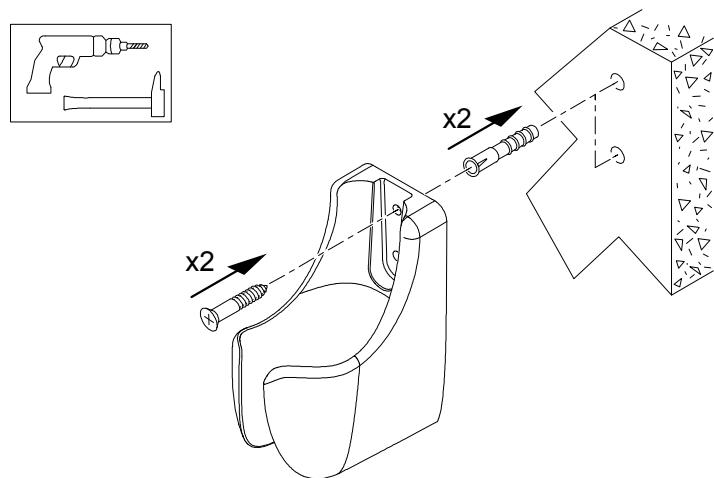


**重要 : ケアストリームヘルス社は接着テープの緩みによる Trophy 3DI の落下に関連した事故の責任を負いません。**

## Trophy 3DI 壁取り付けホルダの取り付け

Trophy 3DI 壁取り付けホルダを取り付けるには、以下のステップに従います：

- 1 アクセスしやすい場所を選びます。
- 2 ホルダの穴にねじを挿入して硬い表面にホルダを取り付けます。



重要：ホルダが正しく取り付けられない場合、ホルダが壁から落下し、Trophy 3DI に損傷を与えることになります。



# 5 はじめに

## イメージングソフトウェアの使用

デンタルイメージングソフトウェアを使用するには、このソフトウェアに同梱されるデンタルイメージングソフトウェアクイックユーザーガイドおよびオンラインヘルプを参照してください。

Trophy Imaging を使用するには、このソフトウェアに同梱される Trophy Imaging クイックユーザーガイドおよびオンラインヘルプを参照してください。

## 画像取得インターフェースにアクセスする

Trophy 3DI 画像取得インターフェースをデンタルイメージングソフトウェアまたは Trophy Imaging 内からアクセスできます。

### イメージングソフトウェアを使用して画像取得インターフェースにアクセスする

Trophy 3DI 画像取得インターフェースをデンタルイメージングソフトウェアまたは Trophy Imaging にアクセスするには、以下のステップに従います：

- 1 デスクトップで、 (トロフィーのデンタルイメージングソフトウェア) または  (Trophy Imaging) をダブルクリックして、イメージングソフトウェアを開きます。
- 2 患者記録を検索または作成します。
- 3 患者記録をダブルクリックして、イメージングウィンドウまたはタブにアクセスします。
- 4 イメージングウィンドウまたはタブで、 または  をクリックして、Trophy 3DI 画像取得インターフェースを開きます。
- 5 基本設定を選択します。

画像取得を行うことに関する情報は「3D 画像のスキャンと取得」ページ 27 を参照してください。

## 基本設定を行う

Trophy 3DI を使用する前に基本設定を行います。基本設定を行うには、以下のステップに従います：

- 1 画像取得インターフェースで、 をクリックして、基本設定ダイアログボックスにアクセスします。基本設定ダイアログボックスが表示されます。
- 2  をクリックして、全般の基本設定を行います。
- 3  をクリックして、スキャナ設定を行います。
- 4  をクリックして、ツール設定を行います。

これで 3D 静止画像の取得を開始することができます。

# 6 3D 画像のスキャンと取得

Trophy 3DI の使用によって、通常、全歯列弓スキャン（上顎、下顎、および頬側咬合）または部分歯列弓スキャン（上顎または下顎、または数本の歯のみ）のいずれかの画像を取得します。

次の数ステップに従うだけで、3D モデルの画像取得ができます：

- 歯の画像取得
- 歯の選択
- 最終チェックおよび出力



**重要：上顎および下顎の歯の両方から画像を取得する場合は、頬側咬合も取得する必要があります。**



**注記：**プレパレーション歯の位置に関係なく、顎を完全にスキャンする必要があります。ソフトウェアはこの情報を使用して、**Trophy Restore** で修復物を設計します。

高品質の画像取得のために役立つ使用可能なツールがいくつかあります：

- **投射光** : Trophy 3DI のチップから放射される光。オーバーラップとアンギュレーションが許容量である場合光は緑色で、オーバーラップとアンギュレーションが許容できない量の場合橙色です。
- **画像取得ボタンの周囲の LED リング** : ガイドシステムが有効である時、画像取得ボタンの周囲の LED リングはオーバーラップとアンギュレーションが許容量である場合緑色で、オーバーラップとアンギュレーションが許容できない量の場合橙色です。ガイドシステムを使用しない場合、LED リングは常に緑色に表示されます。
- **整列ガイド** : ビデオプレビューウィンドウに表示される矩形グリッド。整列ガイドは、オーバーラップとアンギュレーションが許容量である場合緑色で、オーバーラップとアンギュレーションが許容できない量の場合橙色です。

## Trophy 3DI を準備する

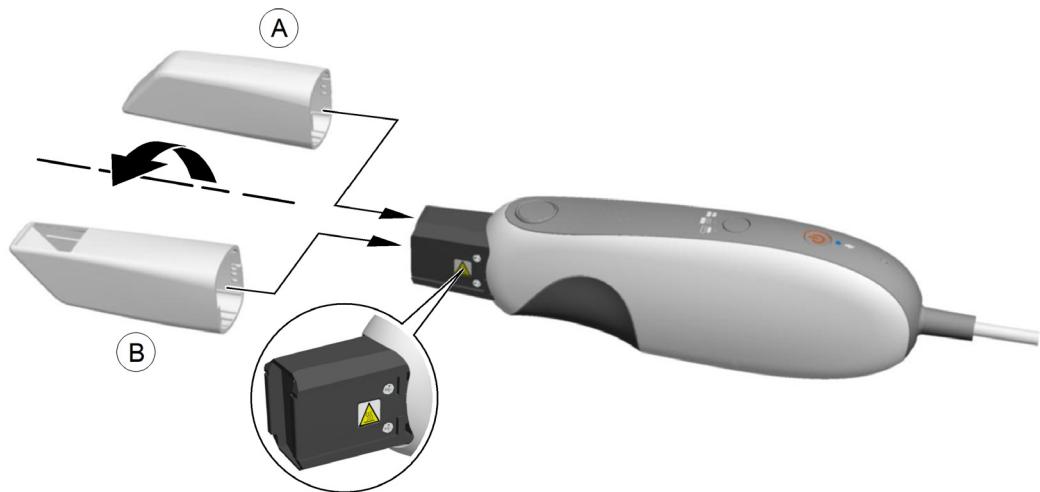
使い捨てチップが Trophy 3DI のボディに取り付けられ、患者の衛生シールドになります。使用するたびに Trophy 3DI のボディを殺菌してください。



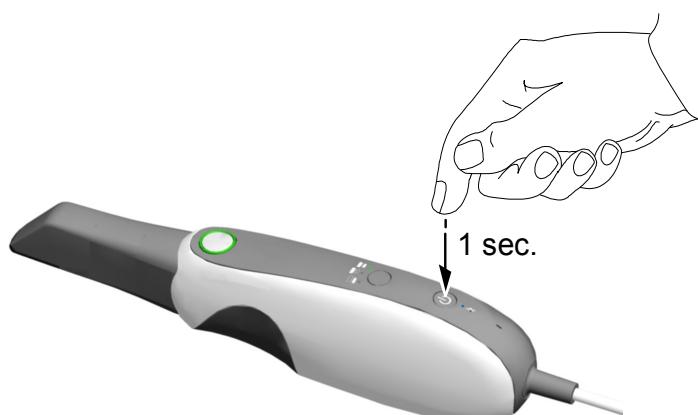
**重要 : 患者ごとに、新しいチップを使用します。チップを追加注文する場合は、販売代理店にご連絡ください。詳細は、Trophy 3DI の安全、規制および技術仕様ユーザーガイドを参照してください。**

Trophy 3DI を準備するには、以下のステップに従います :

- 1 湿った糸くずの出ない布またはレンズ用のティッシュで Trophy 3DI のベースにあるレンズ ウィンドウをクリーニングします。
- 2 図示するように、下顎ビューの場合はレンズを下向き (A) に、上顎ビューの場合は上向き (B) にして Trophy 3DI にチップをしっかりと押し込みます。



- 3 電源ボタンを 1 秒間押して、Trophy 3DI の電源をオンにします。



## 歯のスキャンと 3D モデルの画像取得

画像を取得する場合、デフォルトで下顎を選択していなければ、上顎から開始されます。詳細は、「[基本設定ダイアログボックスの概要](#)」ページ 13 を参照してください。

以下の手順に従います：

- 必ず、咬合面の画像取得から開始してから、舌側面および頬側面の画像を取得します。
- その後、残りの顎に移り、咬合面、舌側面、および頬側面の画像を取得します。
- 最後に、頬側咬合を取得します。

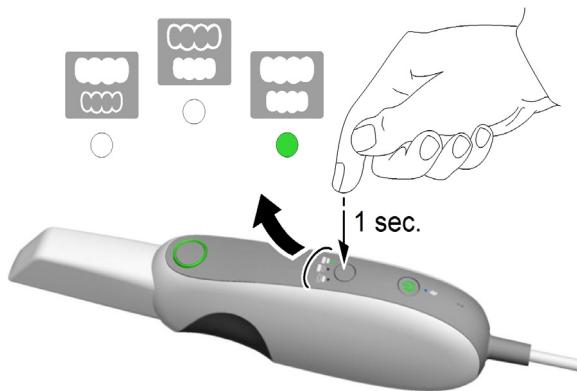
画像をスキャンして取得するには、以下のステップに従います：

- Trophy 3DI 画像取得インターフェースにアクセスします。
- スキャンしたい顎に対して正しい画像取得モードが選択されていることを確認します。別のモードが選択されている場合は、以下の 1 つを行います：
  - 画像取得インターフェースで、画像取得モードを選択します。



または

- Trophy 3DI で、モードボタンを 1 秒間押して画像取得モードを選択します。モードインジケーター LED は緑色に点灯するので選択を確認します。



**注記:** 間違った顎の歯をスキャンした（例、Trophy 3DI が上顎モードの場合に下顎のいくつか

の歯をスキャンした）場合は、 をクリックすると、ソフトウェアは画像取得モードを切り替え、スキャン済みの画像を保持してその顎の歯のスキャンを継続できます。

3 以下のメソッドの 1 つを使用して、ビューを取得します：

- **自動画像取得モード(デフォルト)**: 咬合面に対して 90 度の角度で Trophy 3DI を保持します。Trophy 3DI が安定で、画像がクリアであれば、画像取得が開始されます。画像取得の間、歯面に Trophy 3DI のチップを置くと、Trophy 3DI が安定することに役立ちます。ライブビデオがビデオプレビュー画面に表示され、ビューが自動的に取得されて、再構成のために転送されます。ビューの取得を終了している場合、Trophy 3DI をホルダに入れると自動画像取得が停止します。
- **マニュアル画像取得モード**：咬合面に対して 90 度の角度で Trophy 3DI を保持し、Trophy 3DI の画像取得ボタンを 1 度押して 3D 画像を取得します。画像取得の間、歯面に Trophy 3DI のチップを置くと、Trophy 3DI の安定に役立ちます。

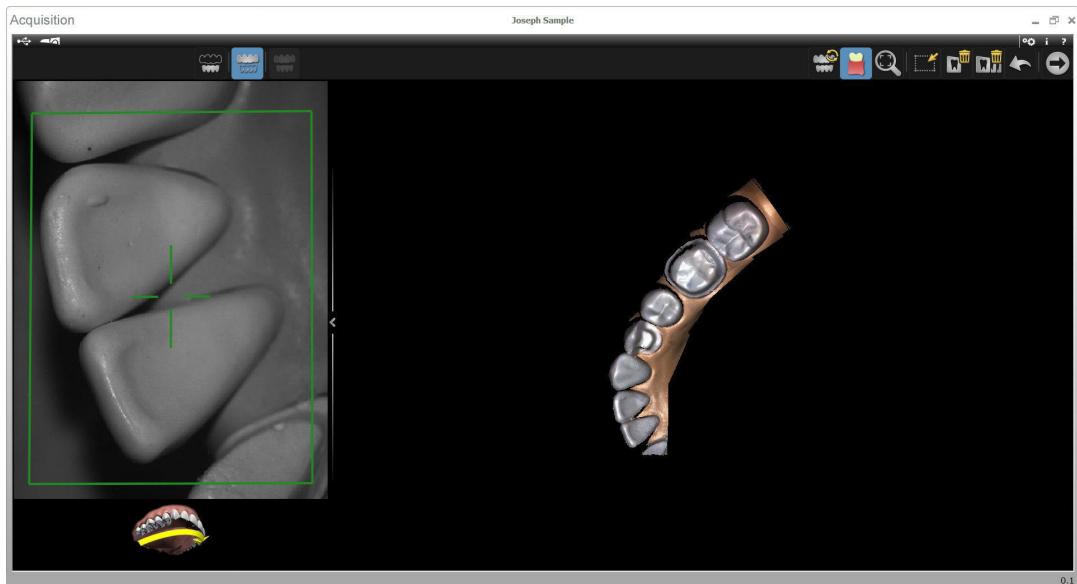


**注記** : Trophy 3DI が自動画像取得モードの場合、必要に応じて、画像取得ボタンを 1 度押すと、マニュアル画像取得を実行することができます。画像取得ボタンを解放すると、Trophy 3DI は自動画像取得モードに戻ります。



**ヒント** : 歯のスキャンの方法の詳細は画像取得インターフェースの左下のアニメーションを見てください。

下の例は上顎の画像取得のいくつかを示しています。



画像取得を行った後、3D モデル表示画面の左上隅に表示される画像取得フィードバックイン

ジケータ を見てください。

フィードバックインジケータは以下を表示します：

- – 画像取得に成功したことを示します。
- – 最後の画像と最新の画像間に十分なオーバーラップがないことを示します。画像を再取得して前の歯との間にオーバーラップがあることを確認します。
- – 手の震えを示します。画像を再取得します。

**重要：再構成に成功するには、各ビューに前のビューと許容できるオーバーラップおよびアンギュレーションがある必要があります。そうでない場合、再構成に失敗する恐れがあり、ビューの再取得が必要になります。**

- 4 頸上の残りの歯の咬合面のスキャンを継続して、最後の画像とおよそ 50% のオーバーラップを維持します。



**ヒント：**マウスのホイールを使用して詳細表示のために歯列弓をズームインします。画像に軟組織のアーチファクトを検出する場合、**ウィンドウで選択**をクリックして、画像を選択し、**削除**をクリックします。その後、画像を再取得します。

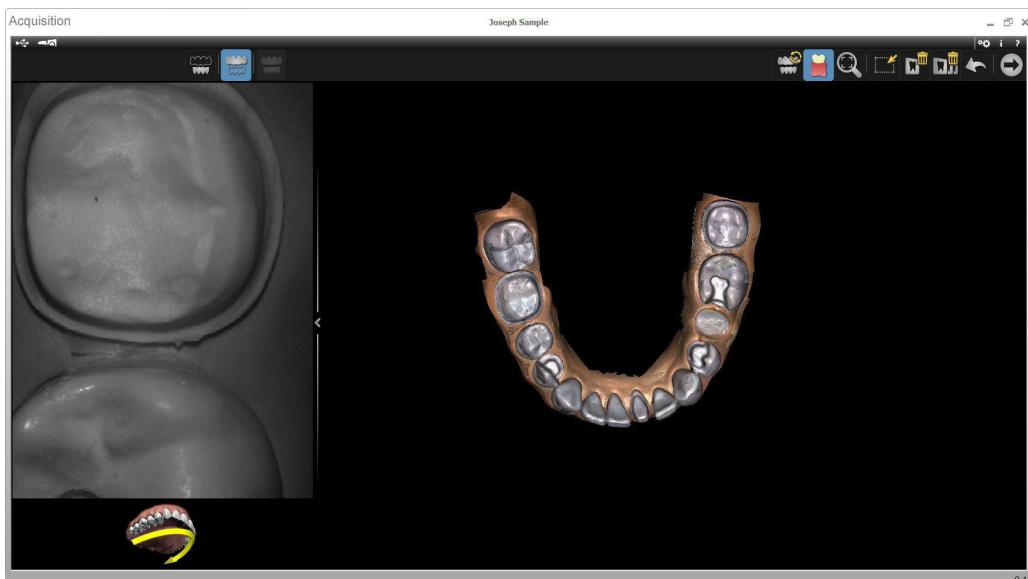
- 5 咬合面のスキャンが完了したら、歯の舌側面および頬側面のスキャンを開始します。歯面に対して Trophy 3DI をおよそ 45 度に維持し、歯列弓内の各歯をスキャンします。



**注記:** 歯が正しくスキャンされなかったり、黒いスポットがある場合、再スキャンします。ソフトウェアが欠落データを埋めます。修復領域から遠いスポットは大きな領域ではなく、ソフトウェアは通常これらのスポットを埋めます。しかし、修復に近いスポットは重要で、これら領域の再スキャンが必要です。スポットの確認を容易にするには、トゥルーカラーをオフにします。

- 6 残りの面（舌側または頬側）を続けて、歯面に対して Trophy 3DI をおよそ 45 度に維持し、歯列弓内の各歯をスキャンします。

取得された 3D モデルは下に示すように画面に表示されます。



- 7 修復領域に対して必要なすべてのビュー（上、下、および頬側咬合）が得られるまで、画像取得を継続します。



**重要:** 上顎および下顎の歯の両方から画像を取得する場合は、頬側咬合も取得する必要があります。

頬側咬合ビューを取得する場合、最良の結果を得るには、画像の中央で上歯および下歯が直接、咬合するポイントを整列させます。成功した咬合画像には、上歯列弓および下歯列弓の両方が含まれます。画像取得の後で、画像取得インターフェースに 1 つの歯列弓のみ（上または下）が表示される場合、追加画像をスキャンして対向歯列弓の画像取得を行い、前の画像と最低 30 % のオーバーラップを維持します。次にソフトウェアは画像を組み合わせます。

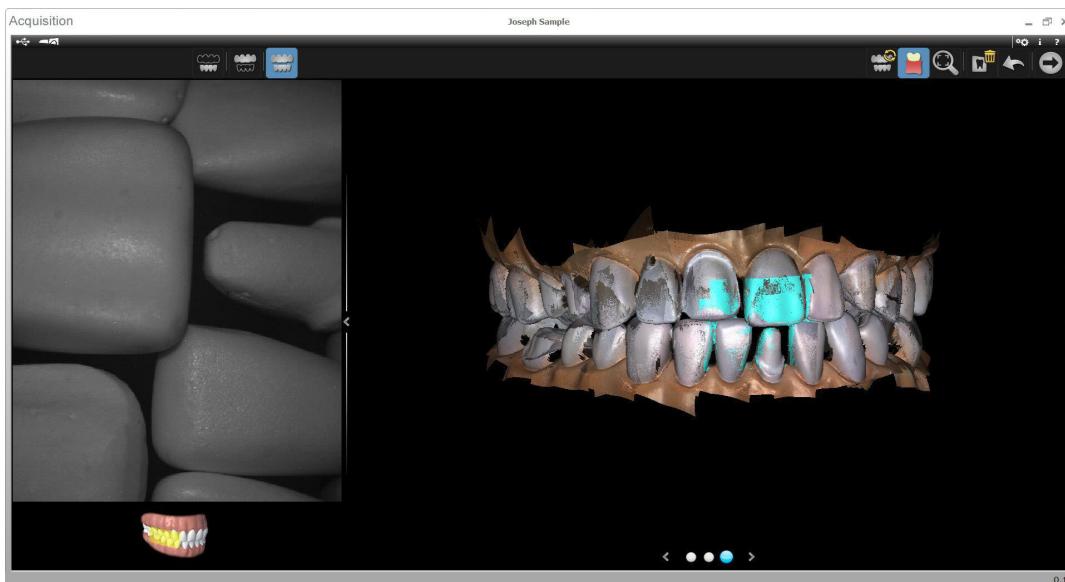
画像取得インターフェースに両方の歯列弓が表示されたら、咬合画像は成功であり、必要に応じて、追加の咬合画像を取得できます。



**重要 : 最初の咬合が部分咬合であり、2番目の咬合画像が最初の部分咬合と十分にオーバーラップしていない場合、ソフトウェアは2番目の咬合の画像を保持し、最初の部分咬合を破棄します。この2番目の咬合画像は部分咬合でも完全咬合でもかまいません。部分咬合の場合、ソフトウェアは2番目の画像を取得するまで待機します。**

歯列弓全体では、最大6つの咬合画像を取得できます。ウィンドウ下部のドットは画像取得に成功した咬合画像の数を示します。ドットをクリックすると、特定の画像が表示されます。半ドットは部分咬合を示します。

下の例は頬側咬合を示します。



- 8 をクリックして歯の選択を実行します。

歯の選択ステップによって、より高い精度で再構成が実行される診断領域を定義できます。

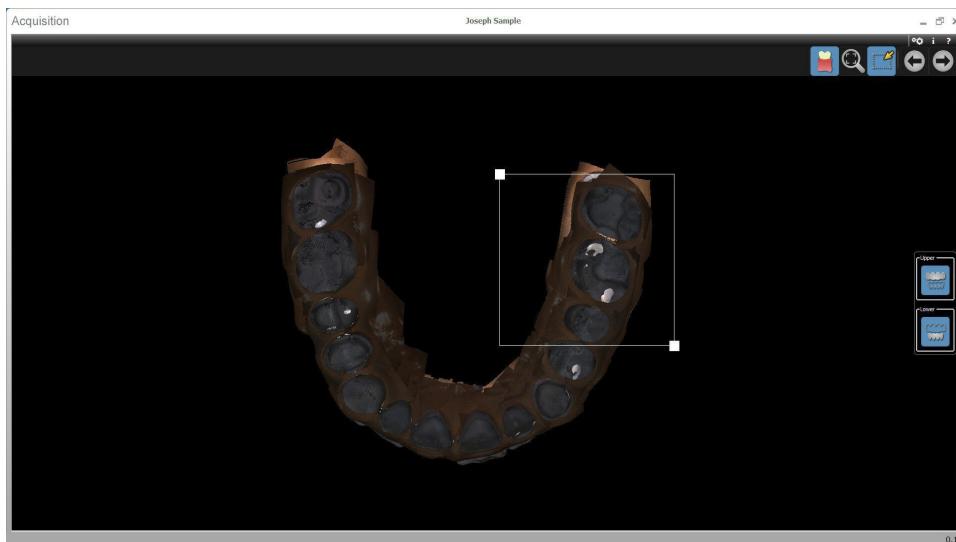


**重要 : 5つ未満の歯の画像取得をした場合、ソフトウェアは歯の選択をスキップして、画像が精密にされます。その後、ステップ 10 を継続します。**

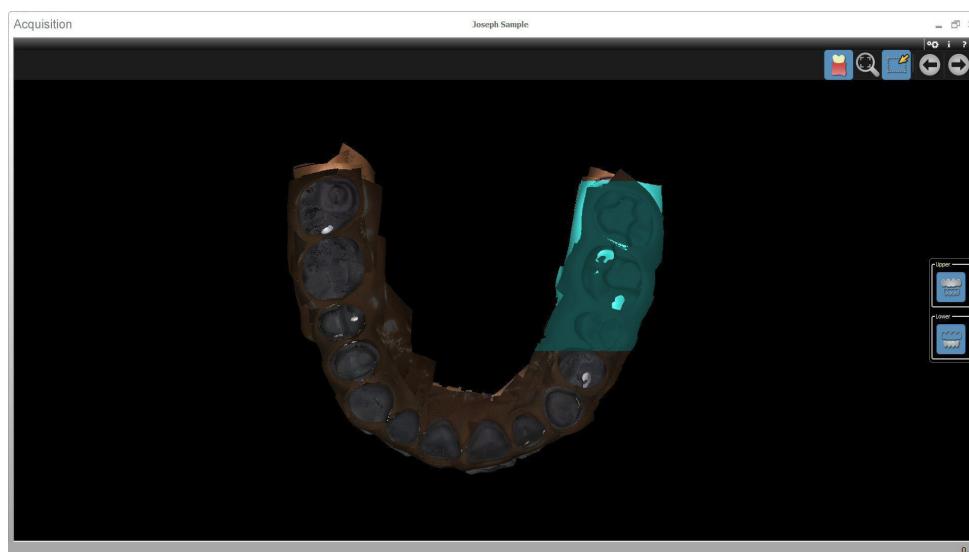
- 9 をクリックして、修復のための歯または複数の歯を選択します。この選択項目には、プレパレーション、隣接歯の隣接面、対向歯列弓の歯、および少なくとも1つの頬側咬合の取得を含める必要があります。



**重要 : マウスを使用して画像の角度を変えて、上記の歯を選択します。これによって、対象の歯のある歯が正確に表示されます。**



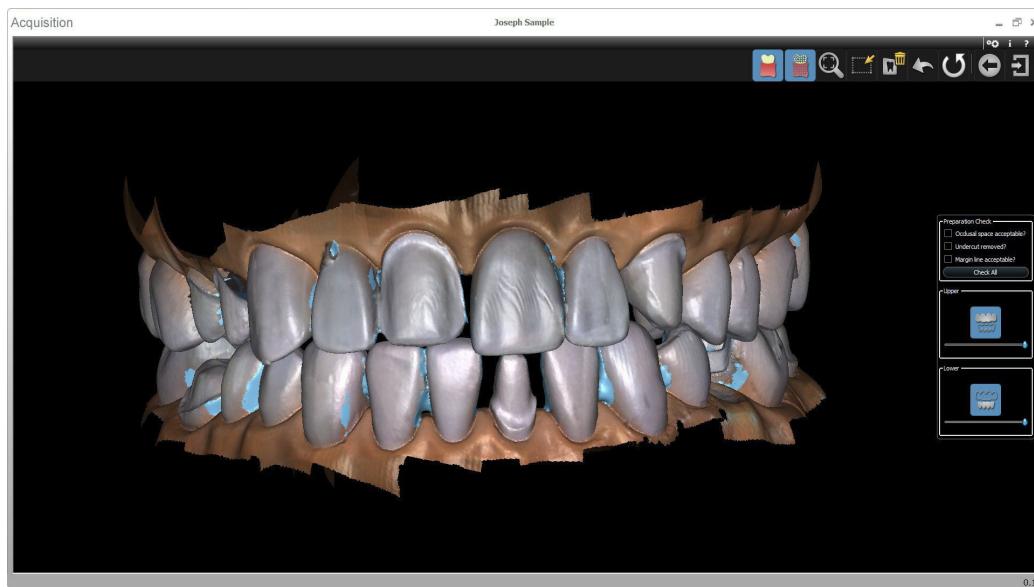
選択した歯が青色で強調表示されます。



をクリックして画像を精密にします。



重要 : 半歯列弓より多く選択できません。または設定し直しプロセスを継続できません。



10 以下のメソッドを使用して 3D モデルを操作 :

- 3D モデルを右クリックしてウィンドウに移動します。
- 3D モデルを左クリックして回転します。
- マウスにスクロールホイールがある場合、ホイールを使用して 3D モデルをズームイン、またはズームアウトします。
- をクリックして、モデルを最適なビューに拡大縮小します。
- をクリックして、3D モデルのサーフェスをスムーズにし、マージンライン品質を向上します。
- をクリックして、画像の過剰軟組織を選択して削除します。

11 上および下スライダを使用して、上顎または下顎の透明度を調整します。スライダの上のアイコンをクリックすると、顎のビューが非表示になります。

12 画像が修復用に満足であるかを確認するには以下の各々に対してモデルを検査する必要があります :

- 咬合スペース
- アンダーカット
- マージンライン

リスト上の各アイテムを確認した後、**プレパレーションチェックセクション**の対応するオプションをクリックします。



**重要 : 修復プロセスを継続する前にリスト上の各オプションをチェックする必要があります。**

スキャンに問題を検出したら、 をクリックして歯の再スキャンを行います。上記のステップを繰り返します。

13 3D モデルに満足したら、以下の 1つを行います：

- デンタルイメージングソフトウェアを使用している場合は、 をクリックして、3D モデルをデンタルイメージングソフトウェアに送信します。
- Trophy Restore を使用している場合は、 をクリックして、3D モデルを Trophy Restore に送信します。

# 7 メンテナンス

## 洗浄と殺菌

Trophy 3DI およびアクセサリで定期的に洗浄および殺菌メンテナンスを実行する必要があります。



**重要:** 洗浄および殺菌に関する情報は Trophy 3DI の安全、規制、および技術仕様ユーザーガイドを参照してください。



# 8 お問い合わせ情報

## 製造元の住所



Carestream Health, Inc.  
150 Verona Street  
Rochester, NY 14608, USA

## 認定代理店

### 欧州共同体認定代理店

**EC REP**

Carestream Health France  
COPERNIC II  
Immeuble Le Neptune  
1, rue Galilée  
93192 Noisy-Le-Grand  
France

### Representante no Brasil Carestream do Brasil Comércio e Serviços de Produtos MédicosLtda.

Rua Pequetita, 215 cjs.  
31 E 32 Edifício Atrium VII - Vila Olímpia  
São Paulo - Brazil  
CEP (郵便番号): 04552-060

